



## 生徒総会



7月1日(金)に生徒総会が行われました。2年生の北岡さんが議長を務め、議会の進行をしました。議事に入る前に、旧生徒会役員に感謝状が贈られ、旧生徒会長の吉坂さんが代表して受け取りました。そして新生徒会役員に任命状が渡されました。新生徒会長の須藤さんから、「一人一人が進化する学校を目標に、少しずつ更に魅力ある学校に進化していきたい。」と挨拶があり、活動報告や活動予定について説明がありました。その後、クラスから出された要望に対して各委員長が回答をしました。



議長選出



旧役員に感謝状が・・・



新役員に任命状が・・・

## きずな月間プロジェクト

熊本県は6月を「心のきずなを深める月間」と定めており、本校ではこれを受けて、「きずな月間プロジェクト」を企画し実施しました。「甲佐高校におけるSNSトラブルと言葉遣いの課題」をテーマに、各クラスの代議員の生徒が中心となってプロジェクトを進めました。SNS



代議員による事前準備

トラブルについてのマンガを主な教材として代議員の意見をたくさん取り入れてスライドを作りました。「教師ではなく生徒」つまり代議員が授業を進めるために、代議員は放課後に何度も集まり、話し合いやスライド発表の練習をしました。当日はどのクラスも代議員が立派に授業を進め、活発な意見の交流が出来ました。今回の取組で多くの生徒がこのSNSや言葉遣いの問題を、これまでよりも自分のこととして考えることが出来たのではないかと思います。

当日の様子



## ニラの収穫体験を行いました

6月29日(水)に、ビジネス情報科2年生がニラの収穫を体験しました。毎年、商業科目の「課題研究」において、地元特産品であるニラを活用した商品の販売実習を行っています。その学習の一環として地元の生産現場を学ぶため、今年もニラ農家の境様にご協力いただき、ニラの収穫体験を行うことができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



## 福祉コース「課題研究」

今年度、福祉コース3年生は「課題研究」という授業で、各自テーマに沿った調べ学習をしています。1学期は、若草保育園、谷田病院、NPO法人みふねデコボコ会、甲佐町はつらつりハビリ教室等に伺って、各専門職の方々から直接話を伺ったり体験をしたりしています。関係の皆様ありがとうございます。



## 3学期制から2学期制へ

本校は、今年度から2学期制になりました。前期の終了は10月3日(月)となり、秋休みを経て10月7日(金)から後期が始まります。3学期制と違い定期考査の回数が減りますが、その分授業時間が確保されることとなります。7月19日(火)から22日(金)には、前期の期末考査が行われ、生徒たちは真剣な表情で試験に臨んでいました。本校では、26日(火)から夏休みに入ります。



考査前放課後学習会の様子

## 進路実現に向けて

7月1日(金)から求人票の受付が始まりました。7月15日現在、229件(県内での就業のみ)の求人票を受け付けました。3年生にとっては、自分の進路実現が目の前に迫ってきて、この夏は勝負の夏となります。公営塾あゆみ学舎のご協力もあって、夏休みトータル9日間、進学希望者を対象に学習会が行われます。また、就職希望者の面接指導も夏休み後半から始まります。進路目標を達成するため頑張れ3年生!



## 公開授業週間

7月5日(火)~7日(木)、公開授業が予定されていましたが、残念ながら5日は台風接近で休校になったため、2日間での実施となりました。外部の方々による参観はもちろん、本校職員同士も参観し合いました。



教室の点検



## 美化週間

7月4日(月)から美化週間が始まりました。7月4日(月)は、保健環境美化委員や有志による外庭の除草作業も計画されていましたが、台風接近のため延期になりました。6日(水)から8日(金)の放課後は、保健環境美化委員による各クラスの掃除状況の点検が行われました。美化委員の感想の一部です。「どのクラスも大体きれいだったが、一部棚の整理ができていない所があった。」「今回の点検でどこに力を入れて取り組み、改善していけば良かった。」

売店前のゴミ箱点検



## 野球部 夏の大会

7月9日(土)、大会初日の第2試合、御船高校・矢部高校との3校連合チームで天草工業高校と対戦しました。2回に1点を先制されましたが、6回裏に1点を取り同点に。直後の7回、3点を許し、1対4で惜敗しました。週末にしか3校揃って練習できない状況ではありませんでしたが、無失策の試合展開で、生徒たちは力を出し切りました。応援していただいた皆様、ありがとうございました。



## クライミング部

少し前の話になりますが、3月21日、「クライミング国体九州ブロック大会熊本県選手選考会」に出場しました。クライミング競技は高校総体では種目になく、いわゆるこの「国体予選」がほぼ唯一の公式戦となります。部活動としてクライミング部がある高校は、県内には極めて少なく、この大会に出場する選手のほとんどは個人的にクライミングジムなどで練習して力をつけている選手です。今回、ただ1人出場した濱砂さん。いつもの学校の壁とは全然違うレベルの課題で、厳しいとわかっていても出場しチャレンジして本当に立派だと思います!お疲れ様でした!

